

Provii!!
ご利用マニュアル
(**User Auto Delete**機能)

令和6年9月18日



株式会社フライトソリューションズ
Flight Solutions

目次

1. はじめに	3
2. システム概要	3
3. 制限事項	4
4. 処理内容	5
4.1. 停止ユーザー検知	5
4.2. アーカイブユーザーライセンス付与	7
4.3. ドライブデータ移行	8
4.4. ユーザー削除	9
4.5. 処理結果通知メール	10
5. 初期設定	13
5.1. User Auto Delete Settings画面の設定	13
6. ご利用方法	16
7. 問い合わせ先	17

1. はじめに

このたびは、弊社のサービスであるProvi!!!（以下、当アプリケーション）をお申込みいただき、誠にありがとうございます。

今後もお客様の満足を第一と考え、製品及びサービスを提供することで、皆様のお役に立てるよう努力してまいります。

本マニュアルでは、ユーザー自動削除機能の詳細について記載しております。

「[利用マニュアル\(共通編\)](#)」をご確認のうえ、本マニュアルをご参照ください。

また、別機能の詳細については、各機能マニュアルをご確認ください。

ユーザー自動削除機能をご利用いただくにはオプション契約が必要となります。

オプション契約につきましては弊社サポート窓口までお問い合わせください。

2. システム概要

当アプリケーションのユーザー自動削除機能は、“Google Workspace™”ユーザーの状態から停止ユーザーを検知し、指定期間経過後にGoogleドライブのデータを別のユーザーに移行、停止ユーザーの削除を行うクラウドサービスです。

※停止ユーザーを検知した際に、アーカイブユーザーライセンスを付与することができます。アーカイブユーザーについては[こちら](#)をご確認ください。

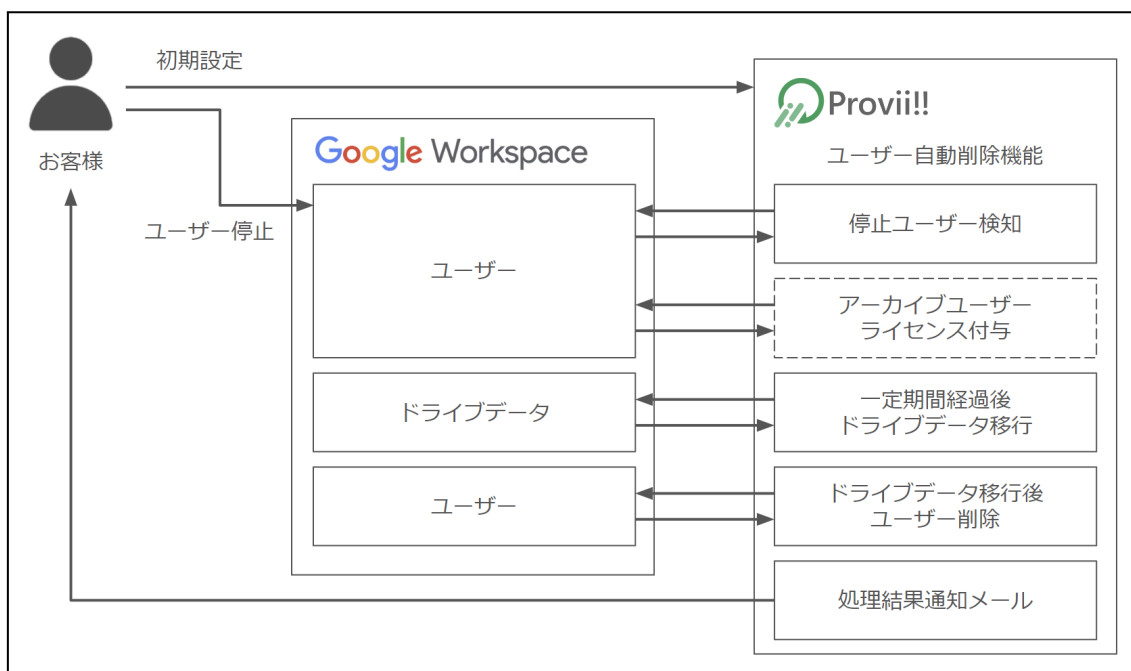
「[5. 初期設定](#)」を実施後、ユーザー自動削除機能では以下の処理が1日1回、深夜1:00に実行されます。

処理の詳細は「[4. 処理内容](#)」をご確認ください。

処理	内容
①停止ユーザー検知	“Google Workspace™”から停止ユーザーを検知抽出する
②アーカイブユーザーライセンス付与	検知した停止ユーザーに対してアーカイブユーザーライセンスを付与する ※アーカイブユーザーライセンスを使用する場合のみ
③ドライブデータ移行	設定した期間後に移行先ユーザーにドライブデータを移行する
④ユーザー削除	ドライブデータの移行完了したユーザーを削除する
⑤処理結果通知メール	処理結果を集計してメールを送信する

処理の概要図

処理の流れは以下のようになります。



3. 制限事項

- ユーザー自動削除機能の利用につきましてはオプション契約が必要となります。
- ユーザー自動削除機能でアーカイブユーザーライセンスを利用する場合は、事前にアーカイブユーザーライセンスを購入している必要があります。

Google Workspace™は、Google LLCの商標です。

4. 処理内容

ユーザー自動削除機能の処理内容となります。

4.1. 停止ユーザー検知

Google Workspaceから停止ユーザーを検知します。検知されたユーザーがユーザー自動削除機能の処理対象となります。

処理の対象外としたい場合は、ユーザーの停止状態を解除してください。

※ユーザー自動削除機能にて削除されたユーザーを復元し、再度停止状態にしても処理対象になりません。

上記ユーザーを処理対象としたい場合は、サポート窓口までお問い合わせください。

対象となるGoogle Workspaceのユーザーステータス

以下のステータスを持つユーザーが対象となります。

- 停止中

対象ユーザーのライセンス

以下のライセンスが付与されているユーザーが停止状態となった際に、処理の対象として検知されます。

- Google Workspaceライセンス(契約プランによって名称が異なります)
- Cloud Identity Premium (※)
- Cloud Identity Free (※)

※アーカイブユーザーライセンスを使用する設定にした場合、Cloud Identityのみのユーザーは、アーカイブユーザーライセンスの付与が行えないため、停止状態にすると当アプリケーションではエラー(ライセンス不足)となります。そのユーザーを当アプリケーションで対象にするには、ライセンスをGoogle Workspaceライセンスに変更し停止状態にしてください。

アーカイブユーザーライセンス付与の可否(Google Workspaceの制限)

Google Workspaceライセンス	可能
Cloud Identity Premium	不可能
Cloud Identity Free	不可能

ライセンスごとの利用可能な機能一覧

	停止 ユーザー 検知	アーカイブ ユーザー ライセンス付与(※)	データ 移行	ユーザー 削除
Google Workspaceライセンス	可能	可能	可能	可能
Cloud Identity Premium	可能	不可能(※)	可能	可能
Cloud Identity Free	可能	不可能(※)	可能	可能

※User Auto Delete Settings画面にて、設定項目「アーカイブユーザーライセンス」を「有」にした場合、ライセンス不足によるエラーが発生します。

4.2. アーカイブユーザーライセンス付与

初期設定にてアーカイブユーザーライセンスを使用する設定をしている場合、検知した停止ユーザーにアーカイブユーザーライセンスを付与します。

対象となるGoogle Workspaceのユーザーステータス

以下のステータスを持つユーザーが対象となります。

- 停止中

もし、停止ユーザーが、設定画面で入力したアーカイブユーザーライセンス購入数よりも多くなった場合、アーカイブユーザーライセンスを付与せず、停止状態のままになります。

解消方法

- アーカイブユーザーライセンスを追加で購入し、設定画面のアーカイブユーザーライセンス購入数を更新する
- 当アプリケーションで、データ移行が完了したユーザーが削除されて、アーカイブユーザーライセンスに余りが出る状態にする

また、設定画面でアーカイブユーザーライセンスの有無を切り替えた場合、以下のとおりとなります。

- 「有」→「無」に変更した場合
すでにアーカイブユーザーライセンスが付与されたユーザーは、そのままアーカイブユーザーライセンスが付与されたままとなります。
- 「無」→「有」に変更した場合
次回の処理以降、設定画面で入力したアーカイブユーザーライセンス購入数に応じて、アーカイブユーザーライセンスが付与されます。処理結果通知メールでは「アーカイブユーザー付与」として通知されます。

4.3. ドライブデータ移行

停止ユーザーのデータを、指定した移行先ユーザーのドライブへ移行します。停止ユーザーを検知した日から、初期設定で指定した「削除までの日数」経過後にドライブデータの移行を開始します。データ移行完了までにかかる日数は、データ量により異なります。

例:「削除までの日数」が365日の場合

1月1日に検知された停止ユーザーは、翌年1月2日にドライブデータの移行が開始され、移行が完了次第ユーザーを削除します。

対象となるGoogle Workspaceのユーザーステータス

以下のステータスを持つユーザーが対象となります。

- 停止中
- アーカイブ済み(アーカイブユーザーライセンスを使用する設定をしている場合)

移行対象のデータ

以下に該当するデータが移行対象となります。

- 停止ユーザーのマイドライブ上にある
- 停止ユーザーがオーナーである

データ移行先フォルダ

データ移行先ユーザーのマイドライブに停止ユーザーごとに作成されたフォルダへファイルを移行します。

階層: 移行先ユーザーのマイドライブ>停止ユーザーフォルダ(※)>移行ファイル

※停止ユーザーのメールアドレスがフォルダ名となり、処理時に自動で作成されます。

データ移行処理の対象ユーザー数

ユーザー自動削除の一連の処理のうち、ドライブデータ移行の処理でドライブデータの移行開始と移行完了を確認できるユーザー数は移行開始、移行完了それぞれ200ユーザーまでとなっております。

※200ユーザーを超えていた場合は、次回処理の対象となります。

4.4. ユーザー削除

ドライブデータの移行が完了後、Google Workspaceから該当ユーザーを削除します。

ユーザーが記録保持（リティゲーション ホールド）の対象になっている場合、ユーザーの削除ができません。

記録保持の対象から外して削除を行ってください。

詳細については、Google Workspaceヘルプの参照をお願いいたします。

<https://support.google.com/vault/answer/11542069>

対象となるGoogle Workspaceのユーザーステータス

以下のステータスを持つユーザーが対象となります。

- 停止中
- アーカイブ済み（アーカイブユーザーライセンスを使用する設定をしている場合）

データ移行後のユーザーについて

データ移行が開始したユーザーの削除処理を中断することはできません。削除処理を取り消したい場合は、データ移行完了かつユーザー削除後に該当のユーザーを復元してください。また、データ移行後のユーザーを復元した際、ドライブ内は空の状態となりますので、データのオーナー変更が必要な場合には、手動でのご対応をお願いいたします。

4.5. 処理結果通知メール

初期設定にて指定したメール宛先へ、その日の処理結果を送信します。
以下の画像のように、各項目に該当するアカウントと件数がメールに記載されます。



処理メッセージの内容

以下の項目がメールに記載されます。

項目名	内容
一時停止検知	停止を検知した停止ユーザー
アーカイブユーザー付与	停止ユーザーを検知し、アーカイブユーザーライセンスを付与したユーザー ※アーカイブユーザーライセンスを使用する場合のみ表示されます。
アーカイブライセンス不足	アーカイブユーザーライセンス購入数よりも停止を検知したユーザーが多く、ライセンスが不足しているユーザー ※アーカイブユーザーライセンスを使用しており、かつライセンス不足が発生している場合のみ表示されます。
アーカイブユーザー付与エラー	アーカイブユーザーライセンスを付与しようとしたが、Google Workspaceからエラーの応答があったユーザー ※アーカイブユーザーライセンスを使用しており、かつ対象となるユーザーが存在した場合のみ【エラー内容】に表示されます。
ドライブデータ移行対象	削除期間が経過し、ドライブデータを移行するユーザー
ドライブデータ移行開始	ドライブデータ移行対象になっているユーザーで、ドライブデータの移行を開始したユーザー
ドライブデータ移行中	ドライブデータを移行しているユーザー
ドライブデータ移行完了	ドライブデータの移行が完了したユーザー
ドライブデータ移行エラー	ドライブデータの移行でエラーが発生したユーザー ※対象ユーザーが存在した場合のみ【エラー内容】に表示されます。
ユーザー削除	ドライブデータの移行が完了し、削除したユーザー
処理対象から削除	ユーザーが再有効化され、処理対象外となったユーザー ※対象ユーザーが存在した場合のみ記載されます。
【エラー内容】	アーカイブユーザー付与エラー、もしくはドライブデータ移行エラーが発生したユーザー ※対象ユーザーが存在した場合のみ記載されます。

エラー発生時

処理の実行時にエラーが発生した場合、件名「ユーザー自動削除処理結果(〇〇エラー)」の通知メールが送信されます。

対象のメールが届いた際は、メールに記載された内容に従ってご対応をお願いいたします。

一部ユーザーの処理にてエラーが発生した場合、通常の処理結果通知メール内に「エラー内容」が記載されます。

翌日の処理で再実行されますが、エラーが続く場合はサポートまでお問い合わせください。

処理の途中で**Google Workspace**からユーザーステータスを変更した場合

「一時停止検知」、「アーカイブユーザー付与」の対象となっていたユーザーがGoogle Workspaceで再有効化された場合、処理結果メールの「処理対象から削除」に記載の上、ユーザー自動削除処理の対象から除外されます。再度停止した場合は、停止ユーザーとして再度検知されます。

5. 初期設定

ユーザー自動削除機能を利用するための初期設定となります。

※必ず「[利用マニュアル\(共通編\)](#)」に記載の初期設定を行ったうえで、本設定を実施してください。

5.1. User Auto Delete Settings画面の設定

データ移行先ユーザーや自動実行時のユーザーを設定します。

【設定手順】

1. 当アプリケーションへログイン後、サイドメニューからUser Auto Delete Settingsを押下し、User Auto Delete Settings画面へ遷移します。

User Auto Delete Settings

共通

✓ ユーザー自動削除機能を有効にする ※チェックがオフの場合、ユーザー自動削除機能は実行されません。
実行ユーザー ※Googleの特権管理者を指定して下さい。また、指定したユーザーでProvi!!へログインを行って下さい。

ドライブデータ移行先ユーザー

ドライブデータ移行先ユーザーID (読取専用)

メール宛先 ※指定したメールアドレスにユーザー自動削除の実行結果がメール送信されます。メールアドレスはカンマ区切りで複数指定出来ます。

削除までの日数 ※ユーザーの停止を検知してから、指定日数の経過後にユーザーの削除処理を行います。

365

アーカイブユーザーライセンス

有

アーカイブユーザーライセンス購入数 ※アーカイブユーザーライセンスを利用する場合、現在購入されているライセンス数を入力して下さい。

950

現在のアーカイブユーザーライセンスの不足ライセンス数

不足分なし

保存 ▶

2. 必須項目に適宜値を設定します。

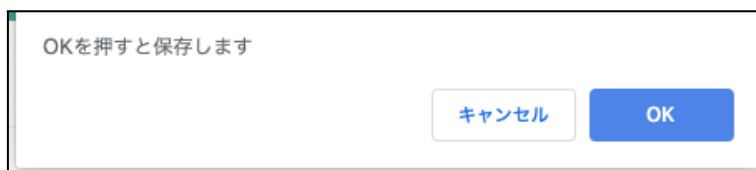
項目名	説明
ユーザー自動削除機能を有効にする	チェックをオンにした場合、ユーザー自動削除処理が実行されます。
実行ユーザー	必須。 当アプリケーションにログイン済みの特権管理者のメールアドレスを入力してください。
ドライブデータ移行先ユーザー	必須。 ドライブデータの移行先となるユーザーのメールアドレスを入力してください。 ※1ユーザーのみ設定してください。 ※指定ユーザーが停止ユーザーや削除対象とならないよう注意してください。
ドライブデータ移行先ユーザーID	読取専用。 設定を保存後に「ドライブデータ移行先ユーザー」に入力したユーザーのIDが表示されます。 ※「ユーザー自動削除機能を有効にする」がオフの場合、ユーザーIDは表示されません。
メール宛先	必須。 処理結果通知メールを送信するメールアドレスを入力してください。 ※カンマ区切りで複数設定できます。 ※本アドレスに限り、グループアドレスでも設定可能です。
削除までの日数	必須。 停止ユーザーの検知からデータ移行・ユーザー削除処理を開始するまでの日数です。 1~999の数値で入力してください。
アーカイブユーザーライセンス	必須。 アーカイブユーザーライセンスの使用有無です。
アーカイブユーザーライセンス購入数	アーカイブユーザーライセンスを有にした場合は必須。 アーカイブユーザーライセンスの購入数を入力してください。 1~25000の数値で入力してください。
現在のアーカイブユーザーライセンスの不足ライセンス数	読取専用。 アーカイブユーザーライセンスが不足した場合に、不足数が表示されます。 不足数がない場合には、「不足分なし」と表示されます。 ※アーカイブユーザーライセンス購入数から停止ユーザー数を引いた数

※利用中に設定を変更した場合、検知済みのユーザーにも変更値が適応されます。

※利用中にアーカイブユーザーライセンス購入数に変更された場合、次回処理より適応されます。

※データ移行が開始しているユーザーは、「削除までの日数」を変更してもデータ移行が完了次第削除されますので、ご注意ください。

3. 設定を変更したら保存を押下してください。
4. 確認画面の[OK]を押下すると設定が登録されます。



5. 設定に成功すると「設定を変更しました」と表示されます。



6. 設定に失敗すると、「設定値の入力でエラーが発生しています」と表示されます。設定項目とエラー内容を確認し、再設定をお願いいたします。

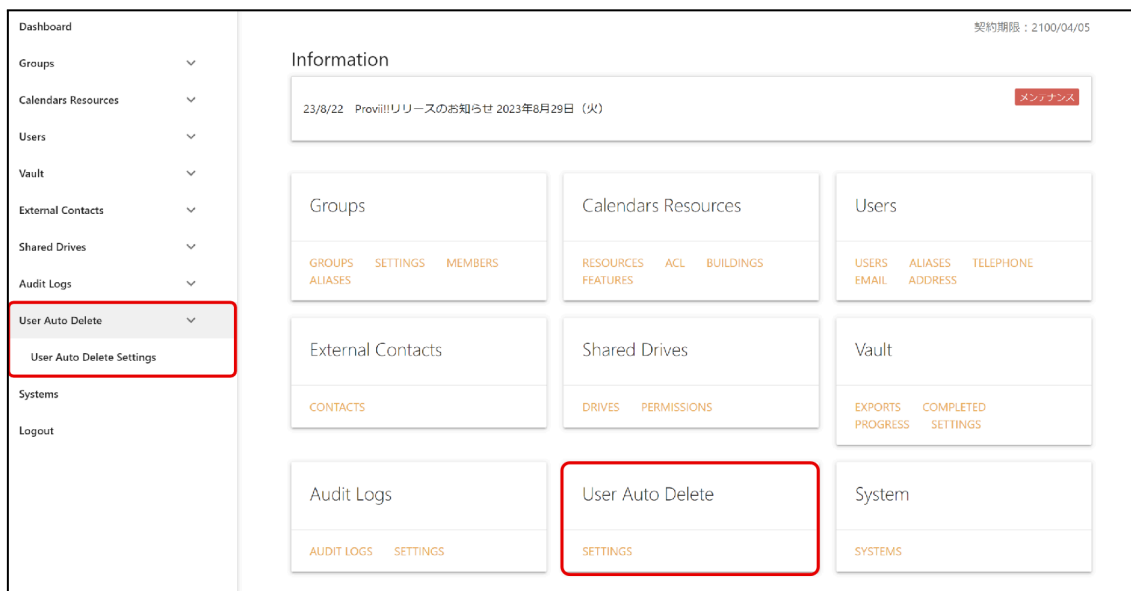


6. ご利用方法

ユーザー自動削除機能の利用方法です。

サイドメニューまたはDashboard画面のUser Auto Deleteカードのオレンジ色のリンクから、各画面へ遷移できます。

※オプション契約をしていない場合は、User Auto Deleteカードが非活性になり、ユーザー自動削除機能は使用できません。



※画像は 2023/8/23 時点のものです。

7. 問い合わせ先

操作が継続不可能な状況に陥った場合や、操作や対応方法が分からない状態に陥った等のトラブルが起きた際は、お手数ですが下記の弊社サポート窓口までご連絡ください。

※ お問い合わせ内容によっては対応まで日数をいただく場合があります。

弊社サポート窓口 : provii@flight.co.jp

営業時間: 平日 10時-18時